



希望と、少しの寂しさも胸に...



少しずつ春の草花が顔を出し始めた頃、村内の幼・小・中施設では、卒園式・卒業式が举行されました。思い出いつばいの学び舎をあとに、これから、新しい道へと歩んでいきます。

こども園ひがしどおり（坂崎隆浩園長）では、園児59名が胸を張って卒園証書を受け取りました。誇らしげに証書を受け取った園児たちですが、「お別れの歌」では涙を流して歌う姿も。立派に成長した姿を見せました。

東通小学校（宮野正範校長）では、57名の卒業生が母校との別



れを惜しみました。今年度の卒業生は、平成21年4月に村内全ての小学校が統合された年の新入生でした。たくさんの思い出が詰まった別れ。卒業生も、在校生も、先生方も、何度も涙で声を詰まらせながら、感謝と希望と決意を言葉にしました。

東通中学校（對馬寿之校長）では59名が卒業を迎えました。「別れの詩」では涙を堪えきれない場面もありましたが、在校生やお世話になった先生方、保護者の皆さんに見送られ、笑顔で再会を誓い合っていました。

ご卒業おめでとうございます！

